

# 都市再生整備計画

のざきみなみ てらがわ  
野崎南・寺川地区

おおさかふ だいとうし  
大阪府 大東市

平成24年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	大東市	地区名	野崎南・寺川地区	面積	55 ha
計画期間	平成	22	年度	～	平成	26	年度
				交付期間	平成	22	年度
					平成	22	年度
					平成	22	年度
					平成	22	年度

<b>目標</b>
<p><b>大目標：地域資源を活用した交流の活性化と安全な生活環境の創出</b></p> <p>目標①：既存資源を活用して地域交流センター、市民ふれあい広場、図書館等を整備し、住民交流の活性化を図る。</p> <p>目標②：生活道路、水路の整備改善により、安全・快適に暮らせる生活環境を創出する。</p> <p>目標③：歴史的町並みを活かし、点在する歴史的資源のネットワーク化・魅力付けを図り、交流人口を増大させる。</p>

<b>目標設定の根拠</b>
<p><b>まちづくりの経緯及び現況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本地区は大阪都心部から電車で約20分という交通至便であることから、昭和40年代には人口が急増し、住宅開発に伴って学校施設や道路等の公共整備が一気に進められた地区である。平安期より京と高野山を結ぶ重要路であった東高野街道沿いに位置し、野崎参りで有名な野崎観音や堂山古墳をはじめ多くの歴史的資源が点在し、だんじり曳行をはじめとする伝統行事や風習が豊かに地域文化として継承され、今もその面影を残す古い町並みを形成している。しかし、地区内はミニ開発などにより住宅密集地や狭隘な幅員道路や蓋掛けされていない水路が残るなど、多くの箇所ですべて安全かつ快適な歩行空間が確保されていない状況にある。</li> <li>・毎年5月に開かれる野崎まいりには、全国から多くの方が野崎観音界隈を訪れるが、歴史的町並みの保全修復が立ち遅れ、その他にも多く点在する歴史資源を活かしたネットワーク化・魅力付けが図られておらず、潜在的な交流人口の掘り起こしが進んでいない。</li> <li>・近年、住民の相対的高齢化と子育て世代の減少が進んだ影響を受け、学校の適正配置を目的として、本市で初めての学校統合（平成23年度：四条小及び四条南小）の実施が決定された。これを受け、市と地域住民や関係者との意見交換を踏まえ平成21年5月に策定された「大東市小学校統合実施計画」では、学校跡施設を住民交流施設としてリニューアルすること、災害時の重要な指定避難場所への位置づけること、通学路の安全対策について十分配慮することが盛り込まれた。</li> <li>・本市域には図書館が中央部と西部に1箇所ずつ計2館整備されているが、本地区を含む市東部地域住民の図書館利用登録者は平成20年度末で全体登録者の18.2%にのぼり、読書需要や施設ニーズが高いことが確認できる。</li> <li>・平成21年9月に実施した市民アンケート(1,000人配布、回収率30.1%)における地区別集計では、居住地区における必要な施設に関する問いに対して「幼児や児童が安心して楽しく遊べ、高齢者等も憩える身近な公園や広場」と回答した人が39.3%と全地区の中で一番高い数字を示していることから、地域住民の交流を図る場所としての広場に対する住民の関心の高さが伺える。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の拠点である小学校が統合されることに生じる跡地施設をリニューアルし、これまで地区内で不足していた図書館機能、地域文化伝承機能を有する施設、地域交流を深めるための学習スペースや多目的交流スペース、市民ギャラリースペースを整備する必要がある。</li> <li>・イベント等の地域住民の余暇活動を幅広くサポートする多目的な広場が不足しており、多様な生活形態の住民が世代交流及び地域交流促進の場を提供する必要がある。</li> <li>・狭隘な生活道路について、小学校統合に伴う通学路の安全対策(道路拡幅や歩道設置等)や水路の蓋掛けを進め、地区住民の安全かつ快適な歩行空間の形成が必要である。</li> <li>・潜在的交流人口の掘り起こしを行うため、点在する歴史的資源について、サイン整備や案内板、ハイキング道整備等によるネットワーク化・魅力付けを行う必要がある。</li> </ul> <p><b>将来ビジョン(中長期)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大東市総合計画では、本地区はJR野崎駅に近接することから「都市型居住ゾーン」及び「郊外型居住ゾーン」として位置づけ、便利で住みよい住環境の形成を目指すことを掲げている。また本地区において多く点在する史跡など地域文化資源の保存と活用については市民共通の財産として継承していくことを謳っている。</li> <li>・都市計画マスタープランでは、本地区を含む市東南部地域を「郊外型の居住環境と身近な生活拠点を整備されたまち」をまちづくりのテーマに掲げ、良好な郊外型の居住環境の形成や潤いや豊かさを感じる身近な生活拠点の形成を図るとしている。</li> </ul>

<b>目標を定量化する指標</b>							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度		
図書館利用者の登録利用者割合	%	市立図書館利用登録者数に占める東部地域住民の登録者数の割合	本地区内に図書館機能を有する地域交流センターを整備することにより、利用者が各種イベントなどに参加するため、交流機会の増大を期する	18.2%	H20	35%	H26
道路対策の満足度	相加平均	地区住民アンケートにおいて、道路対策に対する5段階の満足度評価における全回答者の評価平均値	生活道路改善を進めることにより、住民の道路対策に対する満足度を高める	2.43	H21	3.50	H26
歴史文化遺産の認知度	相加平均	地区住民アンケートにおいて、周辺の歴史文化遺産に対する認知度の5段階評価における全回答者の評価平均値	歴史的町並みの修景整備や歴史文化遺産のPR、魅力付けを図ることにより、住民の歴史文化遺産の認知度を高める	3.11	H21	4.00	H26

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1(地域交流を促進させるための整備)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の拠点である小学校が統合されることに生じる跡地施設をリニューアルし、複合施設として、これまで地区内で不足していた学習交流スペース、歴史交流スペース、多目的交流スペースを有する「地域交流センター」「図書館」「歴史民俗資料館」を整備する。当該施設は災害時には指定避難所として活用することから、非常時に備えて防災備蓄庫を建物内に設置する。</li> <li>・学校跡地の校庭を多目的に使用できる市民ふれあい広場として整備し、多様な生活形態の住民が世代交流及び地域交流促進の場を提供する。</li> </ul>	<p>既存建物活用事業(基幹事業／地域交流センター整備事業)、地域生活基盤施設(基幹事業／市民ふれあい広場整備事業)、地域創造支援事業(提案事業／図書館・歴史民俗資料館整備事業)</p>
<p><b>整備方針2(安全で快適に暮らせる生活空間の創出)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狭隘な生活道路について、小学校統合に伴う通学路の安全対策(道路拡幅や歩道設置等)や水路の蓋掛けを進め、地区住民が安全かつ快適に歩行できる空間の創出させる。</li> </ul>	<p>道路事業(基幹事業／市)</p>
<p><b>整備方針3(交流人口を増大させるための歴史的資源のネットワーク化・魅力付け)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平安期より京都と高野山を結ぶ重要路である東高野街道周辺についてカラー舗装に加えて歴史情緒にある街灯や案内板を設置し、歴史的町並みを活かした景観を形成させる。</li> <li>・街道沿いに点在する「野崎観音」や「堂山古墳」等の歴史的資源について、サイン整備や案内板、ハイキング道整備等によるネットワーク化・魅力付けを行い、潜在的交流人口の掘り起こす。</li> </ul>	<p>道路事業(基幹事業／市)、高質空間形成施設(基幹事業／デザイン照明施設設置事業・緑化施設等整備事業)、地域生活基盤施設(基幹事業／観光案内板・サイン整備事業)、(仮)堂山古墳広場整備事業(関連事業／大阪府)、アドプトリバー野崎中川(関連事業／府・市・地元自治会)</p>
<p><b>その他</b></p> <p><b>○事業終了後の継続的なまちづくり活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市再生整備計画をホームページで公開し、地域住民と事業目的・意識の共有化を図っていく。</li> <li>・市民協働によるまちづくりの推進を目的とした市職員による「大東市まちづくり出前講座」(H17年度創設)の受講を積極的に呼びかけ、市民の自主的な学習機会の充実と意識啓発を行う。</li> <li>・市は道路の美化活動等に関してボランティアによるアドプト制度を積極導入し、地域における市民活動を活性化を図る。</li> <li>・地区内に近接する「野崎参道商店街」及び大阪産業大学(観光ビジネスコースゼミ)との連携を視野に入れ、商店街内にある無料休憩所を拠点に観光ボランティアによる観光ガイド、学生によるチャレンジショップなど、多様な主体による地域魅力の発信力強化を図る。</li> <li>・市は防犯リーダーとなる人材の育成に努め、防犯活動を活性化させ、地域内の防犯意識の向上に努める。また、地元自治会や消防団との連携による防災訓練等を行い、地域住民の防災意識の向上に努める。</li> </ul> <p><b>○地域交流センターの活用について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習交流エリアでは、市民が気軽に市政やイベント等の知りたい情報を入手し、学習できる情報サロンとしての機能のほか、親子で参加できる絵本読み聞かせや朗読会等の開催をはじめ多世代間の市民が学習交流が出来る空間を提供する。</li> <li>・歴史交流エリアでは、市民による市所蔵文化財企画展示、地域に伝承されてきた風習や慣わしを体験できる交流イベントの開催、親子参加での勾玉作成教室の開催など、歴史文化資源を活用した地域交流の活発化とそれらへの理解促進を図る。</li> <li>・多目的交流エリアでは、地域住民が施設を利用して講演会や試写会、地域集会、イベント等目的を限定せずに多目的な交流を図れる空間として提供する。</li> </ul> <p><b>○交付期間中の計画の管理について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付期間中における円滑な事業推進と目標達成に向け、適時、事業エリアの見直しや事業規模の拡充について引き続き検討をしていく。</li> </ul>	



市町村決定計画及び市町村施行国道等事業に関する事項

※該当がない場合は本シートをつける必要はない

市町村決定計画

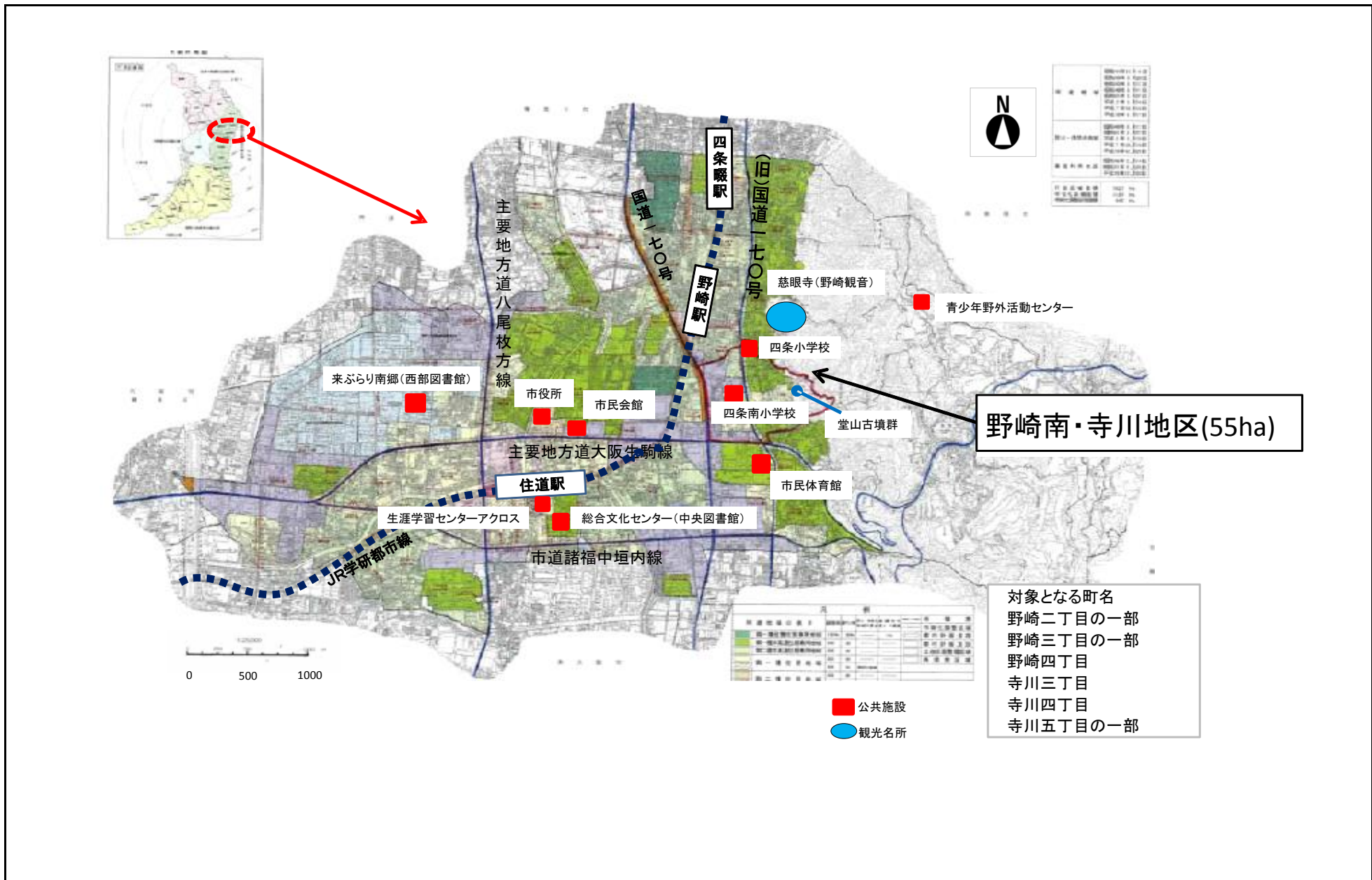
都市施設及び市街地 開発事業の種類	決定/変更	名称	その他必要な事項	変更の概要	都市再生整備計画の 公告(予定)年月日	都市計画の決定又は 変更の期限

市町村施行国道等事業

道路の種類	路線名	新設又は改築の内容
一般国道	(旧)国道170号	歩道の拡幅に関する改築

都市再生整備計画の区域

野崎南・寺川地区(大阪府大東市)	面積 55 ha	区域 野崎二丁目の一部、野崎三丁目の一部、野崎四丁目、寺川三丁目、寺川四丁目、寺川五丁目の一部
------------------	-------------	--





## 野崎南・寺川地区(大阪府大東市) 整備方針概略図

目標	地域資源を活用した交流の活性化と 安全な生活環境の創出	代表的 な指標	図書館利用登録者に占める東部地域住民割合(%)	18.2%(20年度) → 35%(26年度)
			道路対策の満足度(相加平均)	2.43(21年度) → 3.50(26年度)
			歴史文化遺産の認知度(相加平均)	3.11(21年度) → 4.00(26年度)

